

『山口市文化財保存活用地域計画』

文化財の保存活用に関する取組（措置）

令和6年度 実施状況

山口市教育委員会
文化財保護課

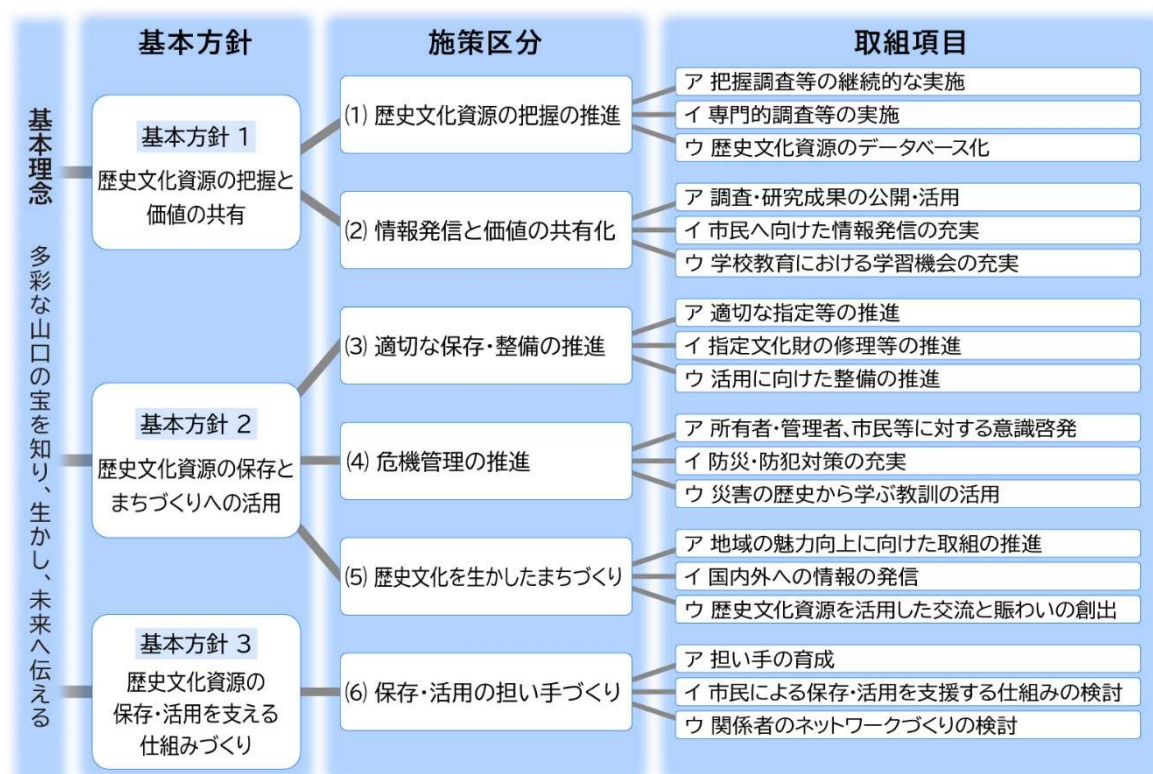


図 歴史文化資源の保存・活用に向けた措置の体系
※詳しくは『山口市文化財保存活用地域計画』及び概要版をご参照ください。

基本方針 1 歴史文化資源の把握と価値の共有

施策（１）歴史文化資源の把握の推進

(1)-ア 把握調査などの継続的な実施（措置１）

【措置１】文化財把握調査の実施

寺社所蔵の資料の調査を４件、建造物の調査を１件おこないました。（文化財保護課）

(1)-イ 専門的調査等の実施（措置2～4）

【措置2】 詳細調査の実施

国の登録有形文化財候補の建造物および市の指定文化財候補の書跡について、詳細な調査を行いました（文化財保護課）。

【措置3】 発掘調査の実施

開発事業にともなう発掘調査8件、史跡の保存活用のための発掘調査2件（周防鋳銭司跡・柏木遺跡）、試掘調査34件をおこないました（文化財保護課）。

【措置4】 文献等調査の実施

大内氏に関する文献史料の紙質調査をおこないました（文化財保護課）。

地域に残る資料の調査及びレファレンス対応をおこないました。郷土出身の文学者・和田健氏の資料について、山口県立大学との共同研究をおこないました（文化交流課）。



【措置4】 紙質調査

(1)-ウ 歴史文化資源のデータベース化（措置5）

【措置5】 データベースの公開

山口市HPサブサイト「山口市の歴史文化資源」の更新をおこないました（文化財保護課）。

施策（2）情報発信と価値の共有化

(2)-ア 調査・研究成果の公開・活用（措置6）

【措置6】 調査・研究成果の公開

『山口市文化財年報18』を刊行しました。史跡周防鋳銭司跡などの発掘調査の現地説明会をおこないました（文化財保護課）。

(2)-イ 市民へ向けた情報発信の充実（措置7～12）

【措置7】 講座・講演会の実施

大内氏歴史文化研究会歴史講座「徳地と東大寺再建」を開催しました。参加者70人（文化財保護課）。

陶・鋳銭司地域及び仁保地域の歴史文化資源を対象にした講座を開催しました。鋳銭司・陶地域22人、仁保地域31人（文化財保護課）。

鋳銭司郷土館で歴史講座を2回開催しました。参加者計60人（文化財保護課）。

【措置7】 大内氏歴史文化研究会歴史講座



山口ヒストリア講演会9「大内氏と菊池氏」を開催しました。参加者109人（文化交流課）。

【措置8】 広報誌等の発行

情報誌『彩都山口』を発行しました（企画経営課）。

広報誌『山口ヒストリア』を発行しました（文化交流課）。

【措置 9】 地域資料の収集・公開

歴史民俗に関する図書など地域資料を収集・公開しました（中央図書館ほか）。

【措置 10】 説明板・案内板の設置

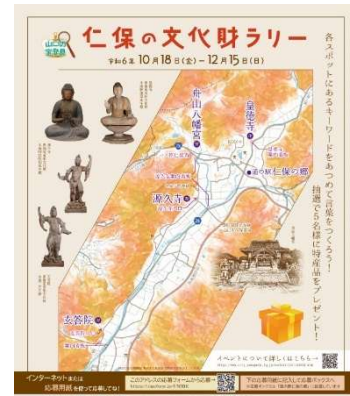
指定等文化財の看板設置・修繕を計 5 件おこないました（文化財保護課）。

【措置 11】 散策コースの設定

陶・鋳銭司地域の歴史文化資源を対象とした「陶・鋳銭司キーワードラリー」、仁保地域の歴史文化資源を対象とした「仁保の文化財ラリー」を開催しました。参加者 116 人、175 人（文化財保護課）。

【措置 12】 モデル事業の実施

陶・鋳銭司地域および仁保地域の歴史文化資源を対象とした講座やラリーイベントを開催しました。（措置 7・措置 11 に記載）



【措置 11・12】 南部ラリーイベント

(2)-ウ 学校教育における学習機会の充実（措置 13）

【措置 13】 学校における郷土学習の実施

市内の文化財展示施設において、小・中学校による郷土学習・体験学習を受け入れました（文化財保護課・文化交流課・観光交流課・ふるさと産業振興課など）。

山口市歴史民俗資料館	5 件
小郡文化資料館	11 件
鋳銭司郷土館	3 件

各学校において、郷土学習がおこなわれています（学校教育課）。



【措置 13】 郷土学習の受け入れ

基本方針 2 歴史文化資源の保存とまちづくりへの活用

施策（3）適切な保存整備の推進

(3)-ア 適切な指定等の推進（措置 14）

【措置 14】 文化財の指定・登録

洞春寺（大殿地域）の所蔵する絵画、志多里八幡宮（大内地域）の所蔵する棟札が県有形文化財に指定されました。また鷺流狂言の技術保持者が追加認定されました（文化財保護課）。船越家住宅主屋（大殿地域）、旧案野酒場店舗兼主屋他（徳地地域）が国の登録建造物に登録されました（文化財保護課）。



【措置 14】 国登録建造物の登録

(3)-イ 指定文化財の修理等の推進（措置 15～18）

【措置 15】 指定文化財の維持管理

地域で所有する文化財維持管理に対する支援や、文化財のうち市有地の文化財（史跡・建造物など）についての維持管理をおこないました（文化財保護課）。

【措置 16】 指定文化財の保存修理

文化財所有者がおこなう有形文化財の保存修理や防災施設保守点検・維持管理等などに対して補助をおこないました。瑠璃光寺保存修理補助・今八幡宮防災施設整備補助・常栄寺庭園保存修理補助ほか（文化財保護課）。



【措置 16】 今八幡宮防災施設整備工事

【措置 17】 文化財保護指導員による巡視の実施

山口県文化財保護指導員 4 名・山口市文化財保護指導員 10 名による巡視を毎月おこないました（文化財保護課）。

【措置 18】 無形民俗文化財等の保存団体への支援

指定を受けている無形民俗文化財等の保存伝承活動に対して 9 件（270 千円）の補助をおこないました（文化財保護課）。

(3)-ウ 活用に向けた整備の推進（措置 19）

【措置 19】 史跡等の活用に向けた整備

史跡周防灘干拓遺跡名田島新開作南蛮樋の整備工事をおこないました（文化財保護課）。



【措置 19】 名田島南蛮樋整備工事

施策（４）危機管理の推進

(4)-ア 所有者・管理者・市民等に対する意識啓発（措置 20・21）

【措置 20】 危機管理に関する情報の提供

文化庁作成の文化財防火デーのポスターを所有者宛てに送付しました（文化財保護課）。

【措置 21】 消防訓練の実施

文化財防火デーに伴い、市内の文化財建造物の立入調査をおこないました（山口市消防本部）。消防訓練は実施している社寺もありますが、消防本部と合同での訓練は実施されていません。

(4)-イ 防災・防犯体制の充実（措置 22）

【措置 22】 防災施設の整備

今八幡宮の防災施設整備に対して補助をおこないました（文化財保護課）。

(4)-ウ 災害の歴史から学ぶ教訓の活用（措置 23）

【措置 23】 災害に対する情報の提供

災害に関する歴史文化資源の情報を「山口市の歴史文化資源」サイトで公開しました（文化財保護課）。

施策（5）歴史文化を生かしたまちづくり

(5)-ア 地域の魅力向上に向けた取組の推進（措置 24～27）

【措置 24】 関連文化財群の磨き上げ

歴史文化資源の活用事業について、山口市文化財保存活用推進会議で検討をおこないました（文化財保護課）。

【措置 25】 歴史文化等に関する検定の実施

「やまぐち歴史・文化・自然検定」を実施し初級から上級に 63 名が参加されました（山口商工会議所）。

「おごおり検定」を実施し、7 名が参加されました（おごおり地域づくり協議会）。

【措置 26】 歴史的なまちなみの保全

大内文化特定地域のまちなみ景観を保全・形成・活用する地域主体のまちづくりの取組やイベントを支援したほか、町屋の保存・活用に必要な取組について検討しました（文化交流課）。

大内文化特定地域に新規出店する事業者に対して支援を行いました（ふるさと産業振興課）

大内文化特定地域内のまちなみ保全を目的とした公共空間の整備として、道路美装化工事及び無電柱化に係る設計をおこないました（都市整備課）。



【措置 26】 町屋の保存・活用の取組

【措置 27】 歴史文化による市のブランディング

大内文化やクリスマスなど、山口市固有の歴史文化を活用した観光ブランディング活動を NPO 法人や民間事業者と共同でおこないました（観光交流課・NPO 法人・民間事業者）。

(5)-イ 国内外への情報の発信（措置 28～34）

【措置 28】 史跡等ガイダンス機能の整備

大路ロビーにおいて資料展示 2 回おこないました（文化財保護課）。



【措置 28】 大路ロビー展示

【措置 29】 関連文化財群についての情報発信

山口市ウェブサイトや山口市文化財保護課公式 X（旧ツイッター）などを活用し、関連文化財群についての情報発信をおこないました（文化財保護課）。

【措置 30】 ウェブサイトによる情報発信

各課が所管する業務に関する情報発信をおこないました（文化財保護課・文化交流課・観光交流課・山口観光コンベンション協会ほか）。

【措置 31】 SNS による情報発信

文化財保護課が実施するイベントや事業のほか、歴史文化を身近に感じる情報について発信しました（文化財保護課）。

【措置 32】 海外への誘客の促進

欧米や台湾をはじめとする東アジア及び東南アジアを対象とした誘客プロモーション及び受入環境整備を実施しました（観光交流課）。

【措置 33】 市外県外及び首都圏への情報発信

大内文化や湯田温泉など山口市の特色や強みとなるテーマを活用し、都市ブランドをさらに高めるため、ターゲットを意識した重点的なシティーセールスに取り組みました。また、N.Y タイムズ紙において「2024 年に行くべき 52 カ所」に選ばれたことをきっかけに、ニューヨーク市で開催されるイベントへ参加しました。ホームページ・情報誌等を活用した情報提供の回数 6 回（企画経営課）。



【措置 33】 ジャパンパレードへの参加

【措置 34】 自治体連携による情報発信

ガーデンツーリズム「雪舟回廊」の周知促進に取り組みました（文化交流課）。

(5)ーウ 歴史文化資源を活用した、交流と賑わいの創出（措置 35～41）**【措置 35】 歴史文化資源を活用したイベントの実施**

南部地域や仁保地域の歴史文化資源を対象とした講座やラリーイベントを開催しました（文化財保護課）。

伝統芸能を幅広い世代に PR するイベントを開催しました（文化交流課）。

【措置 36】 歴史文化の回遊・滞留機能の強化

ふるさと伝承総合センター「まなび館」を活用し、伝統工芸品等の情報発信を行うイベントを開催しました（ふるさと産業振興課）。

地域資源を活用した周遊促進を図るため、南部地域の魅力を発信するサイクリング事業をおこないました（農山村づくり推進課）。

【措置 37】 歴史的建造物の公開活用

菜香亭や十朋亭などの歴史的建造物の公開・活用をおこないました（文化交流課）。

【措置 38】 展示施設における歴史文化資料の展示公開

市内の展示施設で展示公開をおこないました（文化財保護課・文化交流課）。

歴史民俗資料館 年間入館者 4,656 人

企画展「教科書からみる昔の暮らし」令和 6 年 4 月 1 日～同 6 月 16 日

企画展「やまぐち遺跡案内所」令和 6 年 7 月 2 日～同 9 月 8 日

企画展「山口大神宮展」令和 6 年 11 月 1 日～同 12 月 15 日

企画展「興隆寺展」令和 7 年 1 月 7 日～同 3 月 16 日

小郡文化資料館 年間入館者 6,809 人

企画展「葛原輝 その軌跡とまなざし」・「機関車は俺たちが走らせる！」令和 6 年 10 月 5 日～同 12 月 22 日

鑄銭司郷土館 年間入館者 3,153 人

徳地文化伝承館 休館

阿知須「いぐらの館」 年間入館者 9,677 人

十朋亭維新館 年間入館者 22,474 人(展示室入館者 2,950 人)

企画展「撫育方と越荷方」令和 6 年 4 月 3 日～同 7 月 1 日

企画展「わほんのえほん」令和 6 年 7 月 2 日～同 9 月 23 日

企画展「男爵木梨精一郎」令和 6 年 7 月 9 日～同 12 月 16 日

企画展「萬代家の器」令和 6 年 12 月 19 日～令和 7 年 3 月 31 日

山口市菜香亭 年間入館者 25,978 人

企画展「料亭『祇園菜香亭』を彩ったうつわ」令和 6 年 3 月 2 日～同 9 月 1 日

企画展「料亭を彩る屏風」令和 6 年 9 月 4 日～同 10 月 28 日

企画展「山口の近代建築と菜香亭」令和 6 年 11 月 13 日～同 12 月 27 日

企画展「幕末維新めぐり 関西の中の長州」令和 7 年 3 月 5 日～同 6 月 8 日



【措置 38】 資料の展示公開

【措置 39】 歴史文化を生かした交流事業の実施

海外都市との交流活性化事業として、公州市からの訪問団及び各国駐日大使の視察を受け入れました（国際交流課）。

秋穂八十八箇所霊場の巡礼文化をテーマとしたイベント「シェ・アイオ」を実施しました（秋穂地域振興課）。



【措置 39】 公州市訪問団の視察

【措置 40】 伝統芸能や伝統工芸を体験する機会の創出

伝統芸能を幅広い世代にPRするイベント「第2回やまぐち伝統芸能フェス inYCAM」を開催しました。令和 7 年 2 月 8 日。来場者 345 人（文化交流課）。

山口ふるさと伝承総合センターにおいて、大内塗の体験や講座等を開催し、伝統工芸等に触れる機会を提供しました（ふるさと産業振興課）。

山口鷺流狂言保存会結成 70 周年記念公演を開催しました。令和 6 年 10 月 27 日（山口鷺流狂言保存会）。

【措置 41】 伝統工芸の継承等への支援

山口ふるさと伝承総合センターで、伝統産業の継承を支援しました（ふるさと産業振興課）。

基本方針３ 歴史文化資源の保存と活用を支える仕組みづくり

施策区分（６）保存活用の担い手づくり

（６）-ア 担い手の育成（措置 42～44）

【措置 42】 観光ガイド等の育成

研修や育成講座をおこないました（山口市観光ボランティアガイドの会・山口観光コンベンション協会徳地支部）。

【措置 43】 講習会の開催

担い手の育成を目的とした講習会は開催していません。

【措置 44】 地域づくりを担う人材の育成

地域づくりに携わる人を対象に、研修や意見交換会をおこないました。地域での会議等に地域アドバイザーを派遣し、アドバイスをおこないました（協働推進課）。

（６）-イ 市民による保存・活用を支援する仕組みの検討（措置 45～47）

【措置 45】 支援制度の創設

支援制度の創設に向けた検討や準備をおこないました（文化財保護課）。

【措置 46】 地域が行う歴史文化を生かした活動への支援

地域づくり計画に基づき行われる地域振興などの活動や関係人口の拡大につながる取組などに交付金を交付しました（協働推進課）。

【措置 47】 歴史講座等への講師の派遣

小・中学校への出前授業・社会人向けの歴史講座・専門家向けの研修・歴史文化イベントなどに対し、文化財保護課職員を講師として派遣しました（文化財保護課）。

（６）-ウ 関係者のネットワークづくりの検討（措置 48～50）

【措置 48】 歴史文化を生かしたまちづくりを推進するワークショップ・シンポジウム等の開催

古民家を活用した観光まちづくりセミナーを開催しました（文化交流課）。

【措置 49】 関係者が情報共有を行う場の設置

令和６年度は実施していません。

【措置 50】 （仮称）山口市文化財保存活用計画協議会の設置・運営

「山口市文化財保存活用推進会議」及び「山口市文化財保存活用評価会議」を開催しました（文化財保護課）。

重点事業に対する取組み 50 の措置から再構成

(1) 大内氏関連の歴史文化資源の活用推進

- ・大内氏に関する文献史料の紙質調査をおこないました
- ・大内氏歴史文化研究会歴史講座「徳地と東大寺再建」、山口ヒストリア講演会「大内氏と菊池氏」を開催しました【措置 7】。
- ・『大内氏がわかる本』の PR 等を通じて、大内氏・大内文化の周知促進を図りました【措置 8・29・30・31】。
- ・国宝瑠璃光寺五重塔・国重要文化財今八幡宮の保存修理や防災施設整備に対し補助をおこないました【措置 16・22】
- ・大内文化特定地域のまちなみ景観を保全・形成・活用する地域主体のまちづくりの支援、町屋の保存・再生に係る取組の検討をおこないました。地域内に新規出店する事業者に対し支援をおこないました。地域内の道路美装化・無電柱化の設計をおこないました【措置 26】。
- ・歴史民俗資料館や大路ロビーで、大内文化に関する展示をおこないました【措置 28・38】。

(2) 中山間・南部地域の歴史文化資源の磨き上げ、発信

- ・山口大学と共同して史跡周防鋳銭司跡の第 9 次発掘調査を実施しました【措置 3】。
- ・南部地域や中山間地域を対象にした講座やラリーイベントを開催しました【措置 7・11・12・35】
- ・広報紙等や、ウェブサイトや SNS などによる情報発信をおこないました【措置 8・29・30・31】。
- ・徳地地域の旧案野酒場店舗兼主屋他が国の登録文化財に登録されました【措置 14】。
- ・史跡周防灘干拓遺跡名田島新開作南蛮樋の保存修理工事をおこないました【措置 19】。
- ・南部地域での地域資源を活用した周遊促進を図るため、歴史や農産物を活用したサイクリング事業をおこないました【措置 36】。
- ・小郡文化資料館で、南部地域に関連する展示をおこないました【措置 38】。
- ・秋穂八十八箇所霊場の巡礼文化をテーマとしたイベント「シェ・アイオ」を実施しました【措置 39】。

成果指標の達成状況（地域計画 88 頁参照）

指 標 名 (指標の典拠)	上段:基準値(令和2年度) 下段:目標値(令和 9 年度)	実績値 (令和 6 年度)	指標の推移 前年度比
①文化・芸術・歴史に触れる機会 (訪れる・鑑賞する・活動する・ 体験する)に恵まれていると 思う市民の割合 (山口市まちづくりアンケート)	65.4% 70.0%	58.0%	低下 (-2.8 ポイント)
②山口市の歴史文化に誇りや愛 着を持っている市民の割合 (山口市まちづくりアンケート)	62.2% 70.0%	58.1%	低下 (-0.7 ポイント)
③観光客数 (山口県観光客動態調査)	3,040,552人 6,000,000 人	5,353,353 人	向上 (274,783 人)

※山口市まちづくりアンケート・山口県観光客動態調査の説明を追記